

# 中学校 美術

## 中学校 特別支援学級（美術）

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問①、大問②については、マーク式解答用紙に、大問③、大問④については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に名前を記入し、受験番号を次の〔記入例〕に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。※1

記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。※2

〔マーク式解答用紙記入例〕※1

|      |   |       |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 解答用紙 |   | 名前    |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 受験番号 |   | 教育 花子 |   |   |   |   |   |   |   |   |
|      | A | 9     | 8 | 7 | 6 | 5 | 0 |   |   |   |
| A    | ① | ②     | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ● |   |
| B    | ① | ②     | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ● | ⑨ | ⑩ |
| C    | ① | ②     | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ● | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| D    | ① | ②     | ③ | ④ | ⑤ | ● | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| E    | ① | ②     | ③ | ④ | ● | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| F    | ① | ②     | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ● |

〔記述式解答用紙受験番号記入例〕※2

|      |             |
|------|-------------|
| 受験番号 | 9 8 7 6 5 0 |
|------|-------------|

- 4 大問①、大問②については、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の右にある数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。機械が判断できず回答が無効となる場合がありますので、マークはHB、Bの鉛筆で濃く確実にぬりつぶしてください。また、受験番号等の記入ミス等、不正確な記入をした場合は解答用紙が無効になることもありますので、正確に記入してください。間違えてぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。なお、問題で指示している解答番号の数と、解答用紙に印字されている解答番号の数は同じとは限りません。指示された解答番号以外の箇所を記入しても採点されませんのでご注意ください。

〔解答例〕 ① 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。解答番号は ②

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、正答は「3 東京」なので、解答用紙の解答番号②の

右横に並んでいる③を黒くぬりつぶせばよいのです。

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| ② | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|---|

- 5 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 「中学校学習指導要領（平成20年3月告示）」に関する内容について、次の（1）～（7）の問いに答えよ。

（1）中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第1 目標」について、空欄に当てはまる内容として、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、、豊かな情操を養う。

- 1 美術の創造活動の喜びを味わい、美術への永続的な愛好心を育てるとともに、感性を高め、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばし
- 2 美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の社会的な価値を認識することを通して感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし
- 3 美的感受性、創造性、人間理解、研究心などをはぐくみ、豊かな感性や美意識を高めさせ、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし
- 4 美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め

（2）中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕1 目標（2）」について、空欄に当てはまる内容として、適切な語句は何か。

1～4から一つ選べ。解答番号は

〔第2学年及び第3学年〕

1 目標

（2）対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。

- 1 豊かに発想し構想
- 2 幅広く考察し表現
- 3 主体的にイメージ
- 4 目的や計画を基に表現

(3) 中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容A 表現 (2) 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する。イ」の内容として、適切なものを1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 他者の立場に立って、伝えたい内容について分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- 2 伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- 3 使用する者の気持ちや機能、夢や想像、造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。
- 4 用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから美しさなどを考え、表現の構想を練ること。

(4) 中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容B 鑑賞 (1) ア」について、空欄に入る適切な語句は何か。  
1～4から一つ選べ。解答番号は

#### B 鑑賞

(1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、鑑賞に関する次の事項を指導する。

ア 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の  し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

- 1 価値観をもって交流
- 2 想いをもって説明
- 3 価値意識をもって批評
- 4 判断基準をもって発言

(5) 中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容〔共通事項〕」の内容として適切なものはどれか。1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
- 2 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。
- 3 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。
- 4 形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること。

(6) 中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 第2(1)」において、空欄(①)～(④)に入る適切な語句の組み合わせはどれか。選択肢1～4から一つ選べ。解答番号は

(1) 各学年の「A表現」の指導に当たっては、生徒の学習経験や能力、発達特性等の実態を踏まえ、生徒が自分の表現意図に合う表現形式や技法、材料などを選択し創意工夫して表現できるように、次の事項に配慮すること。

ア 見る力や感じ取る力、考える力、描く力などを育成するために、(①)の学習を効果的に取り入れるようにすること。

イ 美術の表現の可能性を広げるために、写真・ビデオ・コンピュータ等の(②)の積極的な活用を図るようにすること。

ウ 日本及び諸外国の作品の独特な表現形式、漫画や(③)、図などの多様な表現方法を活用できるようにすること。

エ 表現の材料や題材などについては、(④)や伝統的なものも取り上げるようにすること。

|   | ①     | ②      | ③         | ④         |
|---|-------|--------|-----------|-----------|
| 1 | デッサン  | 映像メディア | アニメーション   | 地域の美術館の作品 |
| 2 | スケッチ  | 映像メディア | イラストレーション | 地域の身近なもの  |
| 3 | クロッキー | 映像表現   | イラストレーション | 地域の身近なもの  |
| 4 | スケッチ  | 映像表現   | アニメーション   | 地域の美術館の作品 |

(7) 中学校学習指導要領「第2章 第6節 美術 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 3」の語句として適切なものを選択肢1～4から一つ選べ。解答番号は

- 1 刃物類の扱いや保管・管理には十分留意し、事故を招かないように安全指導を徹底するとともに、貸し出しする道具については劣化の点検や番号を記入するなどして、その管理に努めるものとする。
- 2 用具や機械類は日常よく点検整備をし、刃物類をはじめとした材料・用具の正しい使い方や手入れや片付けの仕方などの安全指導を行うものとする。
- 3 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などを徹底するものとする。
- 4 塗料類及び薬品類の使用に際しては、換気や保管・管理を確実にを行うとともに、薬品などに対してアレルギーをもつ生徒などを事前に把握するなどの配慮をするものとする。

2 絵画に関する(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) ①～⑤の各文は絵画等の表現技法について説明したものである。それぞれの技法名について最も適切なものをそれぞれ1～4から一つ選べ。

① 絵画において明るい部分から暗い部分までの諧調の微妙な移行により、形態を柔らかく浮かび上がらせ、周囲に溶かしこむように描く絵画技法。解答番号は

1 ハイライト            2 エングレーヴィング            3 グリザイユ            4 スフマート

② 木の板や石など、表面に凹凸がある物の上に紙を置き、鉛筆やクレヨンでこすると、凹凸が模様となって紙に写し取られる技法。解答番号は

1 スパッターリング            2 コラージュ            3 マーブルリング            4 フロッタージュ

③ 壁の表層に塗られた薄い漆喰が乾かぬうちに、水溶性の顔料を染み込ませるように描いていく壁画技法。解答番号は

1 フレスコ            2 モザイク            3 ステンドグラス            4 テンペラ

④ 紙と紙などの間に絵の具を挟み込み、その上から圧力をかけることで絵の具が押しつぶされて広がり、偶発的な形態を生み出す技法。解答番号は

1 ハッチング            2 デカルコマニー            3 ドリッピング            4 バティック

⑤ 紙面が半乾きのうちに、濃さの違う二種類の墨を加えてにじませることによって、絵柄に量感や質感を効果的に表現する日本画の技法。解答番号は

1 彫り塗り            2 たらし込み            3 骨描き            4 鉤勒

(2) 次の図1～3に関する問い①～⑦について、最も適切なものをそれぞれ1～4から一つ選べ。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。  
「源氏物語絵巻」  
藤原隆能作  
国立国会図書館蔵

図1

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「コタン小路」  
モーリス・ユトリロ作  
ポンピドゥー・センター蔵

図2

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

「モナ・リザ」  
レオナルド・ダ・ヴィンチ作  
ルーブル美術館蔵

図3

① 図1の絵巻物の名前を答えよ。解答番号は

- 1 源氏物語絵巻      2 鳥獣人物戯画      3 信貴山縁起絵巻      4 平治物語絵巻

② 図1で用いられている室内の様子や人物の位置関係などを表現する手法は何と呼ばれているか。解答番号は

- 1 引目鉤鼻      2 つくり絵      3 異時同図法      4 吹抜屋台

③ 図2の作品の作者名を答えよ。解答番号は

- 1 ベラスケス      2 マティス      3 マグリット      4 ユトリロ

④ 図2で用いられている遠近法は何と呼ばれているか。解答番号は

- 1 重ね遠近法      2 色彩遠近法      3 透視図法      4 等角投影法

⑤ 図2で用いられている遠近法において、遠方に向かう平行線の集まる点は何と呼ばれているか。解答番号は

- 1 消失点      2 視点      3 焦点      4 集約点

⑥ 図3の作者と同じ時代に活躍した芸術家として正しいものはどれか。解答番号は

- 1 フェルメール      2 スーラ      3 ミケランジェロ      4 セザンヌ

⑦ 図3で用いられている空間表現法は何と呼ばれているか。解答番号は

- 1 短縮法      2 線遠近法      3 空気遠近法      4 逆遠近法

3 次の文は、作品A～Cに関する説明をしたものである。次の(1)～(4)の問いに答えよ。

作品Aは、作者(①)が、日本橋側から新大橋をへだて、隅田川上流の対岸までを描いた作品「大橋あたけの夕立」で、町人たちが突然の夕立に慌て急いでいる様子が描かれている。なお本作は後期印象派の画家(②)が油彩画で模写したことから、世界的にも著名な錦絵となっている。

作品Bは、作者(③)が江戸を中心に各地からとらえた富士の姿を、様々な趣向を凝らして描いた浮世絵・風景画の連作(④)のうちの1枚である。大きく弧を描いた波と遠くにそびえる富士。襲いかかるような激しい波に翻弄される三艘の押し送り舟の存在により、泰然自若とした富士の姿がいつそう際立つ。浮世絵の風景画は、このシリーズの商業的成功により、<sup>a</sup> 役者絵や美人画と並ぶジャンルとして確立したと言える。

作品Cは、作者(⑤)が1758年ごろからほぼ10年近くをかけて完成させた彩色の花鳥画三十幅の連作、動植綵絵のうちの1枚である。動植綵絵は動植物を描いた彩色画で、作者の代表作である。さまざまな動植物が細密極まる筆致で画面を埋め尽くしている。

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。  
「大橋あたけの夕立」  
歌川広重作  
東京国立博物館蔵

作品A

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。  
「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」  
葛飾北斎作  
東京国立博物館蔵

作品B

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。  
「動植綵絵」  
伊藤若冲作  
宮内庁蔵

作品C

- (1) 文中の①～⑤にあてはまる語句を答えよ。
- (2) 後期印象派の画家②をはじめ、多くの印象派の画家たちが浮世絵の影響を受けたが、日本の文化、様式の影響を受けたヨーロッパの美術、工芸や文化の表現方法を示す名称を答えよ。
- (3) 下線部 a に用いられている、上半身をクローズアップして描写した絵の名称を答えよ。
- (4) 作品Cで用いられた技法は下のア～ウのうちどれか答えよ。  
ア 柘目描き      イ 拓版画      ウ 裏彩色

4 中学校学習指導要領（平成20年3月告示）「第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 A表現（2）（3） B 鑑賞」において、作品の制作から、鑑賞までの指導計画を作成する。次の（1）、（2）の問いに答えよ。ただし、時数は10時間とする。

（1）題材名を次のように設定した。制作のプロセス及び、指導上の留意点にふれて「題材の概要」を記せ。

|     |                |
|-----|----------------|
| 題材名 | ジュースのパッケージデザイン |
|-----|----------------|

（2）（1）の題材における「題材の目標」及び、評価の4つの観点とそれぞれの評価規準を記せ。